



### 北海道における電力自由化の現状について

電力の小売全面自由化は、昨年4月にスタートして一年が経過しました。現在までの電力自由化の状況について、お知らせします。

本年5月16日現在における、全国の小売電気事業者の登録数は391社です。このうち、北海道を供給地域（予定を含む）としている事業者及び北海道内に本社を置く事業者は、合わせて67社となります。

この67社のうち、家庭向け販売を行う事業者（予定を含む）は40社で、うち17社が料金メニューを公表※1しており、これら事業者は、従量料金からの割引や、灯油・ガス等とのセット販売などを設定しています。

スイッチング率※2は、全国平均で5.9%であり、自由化の認知度は、この一年で一定程度進んだといえます。北海道のスイッチング率は6.4%で、東京8.5%、関西7.7%に次いで、全国で3番目となっています。

北海道を供給地域（予定を含む）としている小売電気事業者及び北海道内に本社を置く事業者は、次のURLをご参照ください。（事業者が任意に提供した情報です。） <http://www.hkd.meti.go.jp/hokpp/20170516/index.htm>

【全国のスイッチングの状況（4月30日現在）】



※1 当局調べ

※2 スイッチング件数/電灯電力契約口数（2015年度）

<担当：資源エネルギー環境課>

### 「これからのエネルギーを考える2017」地域セミナーを開催します

経済産業省北海道経済産業局では北海道と連携し、日本におけるエネルギーの現状や将来の姿など、我が国のエネルギー政策について、道民の皆様理解を深めていただくため、「これからのエネルギーを考える2017」地域セミナーを道内9か所で開催（参加無料）します。今月号では、以下5か所での開催概要をお知らせします。なお、詳細については当局ホームページをご覧ください。

開催地	日時	場所	定員
旭川市	5月31日（水） 14:00～15:30	上川総合振興局 2階 204号会議室 （旭川市永山6条19丁目1-1）	80名
釧路市	6月2日（金） 14:00～15:30	釧路市交流プラザさいわい 3階 大ホール（釧路市幸町9丁目1）	75名
倶知安町	6月9日（金） 14:00～15:30	後志総合振興局 2階 講堂 （虻田郡倶知安町北1条東2丁目）	80名
網走市	6月12日（月） 14:00～15:30	オホーツク総合振興局 3階 講堂 （網走市北7条西3丁目）	100名
室蘭市	6月20日（火） 14:00～15:30	胆振総合振興局 3階 大会議室B （室蘭市海岸町1丁目4-1 むろらん広域センタービル）	50名

※各会場13:30～受付開始

#### ○プログラム

◆3E + Sの実現に向けたエネルギーミックス  
説明者：経済産業省（北海道経済産業局又は資源エネルギー庁）

◆北海道における新エネルギー導入拡大の取組  
説明者：北海道経済部環境・エネルギー室

※「3E + S」= 安全性（Safety）を前提に、エネルギーの安定供給（Energy Security）、経済効率性の向上（Economic Efficiency）、環境への適合（Environment）の同時達成を図ること。

#### ○詳細・申込方法

セミナーの詳細、申込方法については、当局ホームページをご覧ください。

<http://www.hkd.meti.go.jp/hokpw/20170509/index.htm>

<担当：総合エネルギー広報室>



## 環境ビジネスに取り組む企業の事業紹介

### 地元のバイオマス資源を有効活用し 浄化槽用固形シーディング剤を開発 〈株式会社シティック〉

第4回ものづくり日本大賞  
ものづくり地域貢献賞受賞  
(製品・技術開発部門)

#### 環境ビジネスの概要

長年にわたり公共下水道・汚水処理施設・浄化槽の維持管理に携わってきた同社は、一般的に農地還元するしかないと考えられてきたバイオマス資源を有効活用し、固形シーディング剤「イグアスEx」を開発、平成17年に販売を開始した。地元バイオマスの地産地消に貢献し、新ひだか町エリアの廃棄物処理コスト低減にも寄与している。

同商品は現在の浄化槽メーカー市場において国内70%のシェアを持つ。今後は国際特許を取得し、海外での販売を視野に入れている。

「イグアスEx」



直径6cm、高さ3cm

#### 特色のある事業・技術

「イグアスEx」は新ひだか町で排出される家畜糞尿と下水汚泥を主原料に、同社独自の堆積発酵法で製造。含まれる微生物によって、浄化槽の早期立ち上げ、臭気・発泡の抑制、透視度・凝集性の改善に高い効力を発揮する。研究を重ね成功した固形化により、運搬・取り扱いが容易な上、流入変動の影響を受けにくく浄化槽内に留まるため、約3カ月効果を持続できる。多様な成分を含む汚水に対応できるよう、複数種の微生物を利用しているのも特長。畜産場にも使用されているほか、山小屋のトイレにおいて自治体と連携し実証試験を行っている。

同商品は平成20年「北海道認定リサイクル製品認定」「北海道オンリーワン事業対象製品認定」、同24年に「ものづくり日本大賞ものづくり地域貢献賞（経済産業省）」受賞、同26年に「北海道チャレンジ企業表彰」を受けた。

上記記事は、道内環境関連企業の情報を取りまとめた冊子『北海道環境企業データBOOK2017』より抜粋したものです。当該冊子の郵送希望や詳細は、当局ホームページをご覧ください。  
<http://www.hkd.meti.go.jp/hokni/db2017/index.htm>

道内環境関連企業情報を検索できるウェブサイトはこちら  
[http://www.hkd.meti.go.jp/hokni/hkd\\_data2017/index.html](http://www.hkd.meti.go.jp/hokni/hkd_data2017/index.html)

〈担当：環境・リサイクル課〉

## 平成29年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業の公募を開始します

一般社団法人環境共創イニシアチブでは、工場・事業場単位と設備単位の両面から省エネルギー対策を支援する「平成29年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業」の公募を平成29年5月25日（木）から開始します。

- 公募期間：平成29年5月25日（木）～6月26日（月）12:00必着
- 事業区分及び補助率
  - (1) 工場・事業場単位での省エネルギー設備導入事業：1/3以内  
※エネマネ事業を活用する場合は、補助対象経費の1/2以内
  - (2) 設備単位での省エネルギー設備導入事業：1/3以内
- 補助金限度額：
  - (1) 工場・事業場単位での省エネルギー設備導入事業：15億円/年度
  - (2) 設備単位での省エネルギー設備導入事業：3,000万円

#### 【お問い合わせ先】

一般社団法人 環境共創イニシアチブ TEL：0570-055-122（ナビダイヤル）  
詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://sii.or.jp/cutback29/overview.html> <担当：エネルギー対策課>

## 平成29年度「省エネ大賞」募集中

一般財団法人省エネルギーセンターでは、優れた省エネ活動事例や技術開発等による先進型省エネ製品等を表彰し、省エネルギー意識の浸透、省エネルギー製品の普及促進等に寄与することを目的として「省エネ大賞」を募集しています。

- 応募区分：省エネ事例部門、製品・ビジネスモデル部門
- 応募締切：平成29年6月30日（金）必着

これまでの北海道内の受賞実績

- ・平成25年度：北電興業(株)、北海道大学大学院地球環境科学研究科
- ・平成23年度：(株)ネビーズ・クリエイション、札幌市

#### 【お問い合わせ先】

一般財団法人 省エネルギーセンター 省エネ大賞事務局  
TEL：03-5439-9773

詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.eccj.or.jp/bigaward/start17/index.html>

〈担当：エネルギー対策課〉

